

国立大学法人島根大学役員会（第382回）＜議事要録＞

日時	令和4年7月19日（火） 14:00 ～ 15:50
場所	本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者	服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事，上野理事 宮脇理事
オブザーバー	千家監事，栗原監事
欠席者	なし
	〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長 松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長〕

**議題1 特別副専攻プログラムに関する規則及び大学院における特別副専攻プログラムに関する規則の一部改正について**

- 肥後理事から特別副専攻プログラムに関する規則及び大学院における特別副専攻プログラムに関する規則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

**議題2 教学マネジメント委員会規程の一部改正及び教学マネジメント委員会教職課程小委員会要項（案）について**

- 肥後理事から教学マネジメント委員会規程の一部改正及び教学マネジメント委員会教職課程小委員会要項（案）について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

**議題3 日本電子株式会社との産学連携に関する協定の締結について**

- 大谷理事から日本電子株式会社との産学連携に関する協定の締結について説明があった。
- 服部学長から本協定を締結することにより日本電子側にとってどのようなメリットがあるのかとの質問があり，大谷理事から，今回導入した機器を使用して実績が上がるのが先方にとっても次の事業展開に繋げていくうえで重要と考えられるとの回答があった。
- 栗原監事から，第6条において発明等の取扱いについて記載されているが，本学と日本電子の双方が共同で開発研究を行う中で，得られた知見や研究成果等に関する権利の帰属等についてこの記載のみで充分かどうか懸念されるとの意見があった。
- 服部学長から，今回は相手方が民間企業であることから産学連携協定の形を取っているのかとの質問があり，千家監事から産学が連携して事業を進める，いわゆるオープンイノベーションであるという意味合いではないかとの発言があり，大谷理事から企業との連携ということで産学連携協定としているとの回答があった。
- 宮脇理事から，今回の協定は本学と先方のいずれから申出があったものかとの質問があり，大谷理事から厳密には確認できていないが先方からの申出であったと理解しているとの回答があった。さらに宮脇理事から，どのような背景や経緯があつて協定を締結することとなったのかが分からないと議論が難しいのではないかと意見があった。
- 審議の結果，協定締結に至る具体的な経緯等については別途確認を行うこととし，本件については原案どおり議決された。

**議題4 島根半島・宍道湖中海（国引きジオパーク）推進協議会との協定締結について**

- 大谷理事から島根半島・宍道湖中海（国引きジオパーク）推進協議会との協定締結について説明があった。

- 千家監事から、連携内容として教育・人材育成に関する事項が主となっているが、地方創生推進課が窓口となって統括しながら進めるのかとの質問があり、大谷理事からご認識の通りであるとの回答があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

#### 議題5 サイバーセキュリティ対策等基本計画の令和3年度進捗状況について

- 藤田理事からサイバーセキュリティ対策等基本計画の令和3年度進捗状況について説明があった。
- 千家監事から標的型攻撃メール訓練の実施状況について、基本計画では情報セキュリティ委員会に報告のうえで情報セキュリティ対策を評価し改善を図ることとなっているが、令和3年度の実施内容では実施状況を報告したことのみ記載となっており評価、改善に係る言及がなされていないため、適切なPDCAサイクルとは言えないのではないかと意見があり、藤田理事から、再度確認したうえで対応したいとの発言があった。
- 審議の結果、千家監事からの指摘については改めて確認を行うこととし、本件については議決された。

#### 議題6 医療用設備マスタープランの策定について

- 椎名理事から医療用設備マスタープランの策定について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

#### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（受験者数（志願者数を含む）の減少の対策）

- 肥後理事から定期モニタリングの実施について（受験者数（志願者数を含む）の減少の対策）説明があった。
- 栗原監事から、県内からの入学者を増加させることも重要であるが、卒業生の県内就職増加に向けた取組を進めた方が成果として大きいと、力を入れていくべきではないかと意見があり、肥後理事から県内就職者増加の取組は重要と捉えており、県外出身で県内に就職した卒業生の追跡調査の実施を考えているとの発言があった。さらに肥後理事から、特に新学部は島根県との連携に基づいて設置が認められた経緯もあるため、県内からの入学者確保に向けて各高校への働きかけを行っているとの発言があった。
- 服部学長から、本学の入学定員の約7割を理系学部が占めているため理系の学生確保が重要であり、理系を志望する県内の高校生が少ない中で本学の理系学部への志願率をどのように上げていくか、高大接続の取組等においてさらなる働きかけが必要との意見があった。
- 千家監事から、今後、専門職のような形で入試広報を担う事務職員の人材育成を考えていく必要があるのではないかと意見があり、肥後理事から入試制度の多様化に対応できるよう専門的な知識を身に付けつつ、各方面との営業的な繋がりを持つような人材が必要と考えているとの発言があった。さらに服部学長から、事務職員の人材育成については入試広報に限らず大きな課題と認識しており、各理事と相談しながら考えていきたいとの発言があった。

#### 報告事項1 令和3事業年度財務諸表の承認及び第3期中期目標期間終了時における積立金処分申請に係る繰越承認について

- 藤波理事から令和3事業年度財務諸表の承認及び第3期中期目標期間終了時における積立金処分申請に係る繰越承認について報告があった。
- 千家監事から、国立大学法人会計基準の改訂により設備更新用に資金の積み立てが可能となっているため、今後は目的積立金とのバランスを考えていく必要があるのではないかと意見があり、

藤波理事から、今後文科省から詳細な情報が示されると思われるため、効果的な活用が可能となるよう注視していきたいとの発言があった。

#### 報告事項 2 島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて

- 藤波理事から島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて報告があった。
- 千家監事から節電目標の決定方法について、次年度以降、提案はEMS改善委員会から行ったうえで役員会において決定する形とした方が良いのではないかと意見があり、藤波理事からEMS改善委員会ではエネルギーに限定して議論しているため、EMS全体の取組について整理して進めたいとの発言があった。

#### 報告事項 3 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

#### 報告事項 4 2021（令和3）年度企業等からの資金提供状況の公表について

- 椎名理事から2021（令和3）年度企業等からの資金提供状況の公表について報告があった。

#### 報告事項 5 支援基金令和3年度監事監査報告

- 千家監事から支援基金に係る令和3年度の監事監査について報告があった。

#### 報告事項 6 令和4監査年度 監事監査計画

- 千家監事から令和4監査年度の監事監査計画について報告があった。

#### 報告事項 7 令和4監査年度 内部監査計画

- 監査室長から令和4監査年度の内部監査計画について報告があった。

#### その他

- 宮脇理事から議題5に関連して、サイバー攻撃によるウイルス感染や機密情報の漏洩が一度でも発生した場合重大な事態になるという認識を持って対応していく必要がある、また学生に対してセキュリティ教育だけでなく情報リテラシーを持たせるための教育を行っていくことも大切であるとの意見があった。
- 上野理事から議題3に関連して、NEXTAにおいて今回の設備導入により県内の特殊鋼企業等にも様々な形で貢献できるという青写真を描くことによって、島根大学の材料分野のブランドとして県内高校生の入学や本学卒業生の県内就職のためのPRに繋げていって欲しいとの意見があった。